

(記者提供資料)  
 発表月日 令和元年 7月 23日  
 担当部署 草津宿街道交流館

## 草津宿本陣でまたまた新発見！

あの新選組の持ち物も…

# 江戸時代の“わすれもの”

草津宿・田中七左衛門本陣を江戸時代に利用した人々の「失念物(忘れ物)」と記された資料が発見されました。中には、幕末期に京都で活躍した新選組の持ち物と見られるもの、本陣の利用について記録された「大福帳」の記載と一致するものも含まれています。

本陣の運営の実像と共に、江戸時代の旅の様子をリアルに物語る非常に貴重な資料です。

### 資料の概要

点数…18点      時代…江戸時代後期  
 内容…「煙管入れ」、「守袋」、「矢立」、「脚絆」 など小物類

これらの資料は、8月1日(木)から草津宿街道交流館にて展示いたします。

### 発見の経緯と史料的价值について

平成30年6月から行っている「草津宿本陣歴史資料調査」の過程で発見しました。

これらの資料は草津宿本陣の土蔵内の箆笥の引出に保管されていました。当主・田中家の手回り品と共に入れられていたため、一見すると調査対象外と思われましたが、確認したところ何点かに日付や利用者の名前などが墨書された紙製の札が結びつけられていました。

いずれも旅人の持ち物と見られること、札の取り付け方や記入の仕方などがよく似ており、その中に「御失念物」「御本陣」と書かれたものがあることから、

**江戸時代以降、田中七左衛門本陣で預かれてきた、利用者の“忘れ物”であると判断しました。**

近世交通史研究の大家であり、愛知県・二川宿本陣、静岡県・新居関等の調査に長年携わってこられた渡辺和敏先生(愛知大学名誉教授・本調査調査委員長)には、「江戸時代の“忘れ物”が、このような形で残されている例はほとんどないのではないか。田中家が、利用客を非常に大切にしていたことがうかがえる」と評価していただいています。

「失念物」という性質上、同様のものが他にも多数あったと思われそうですが、これらのみが何らかの理由で現在まで残ったと考えられます。

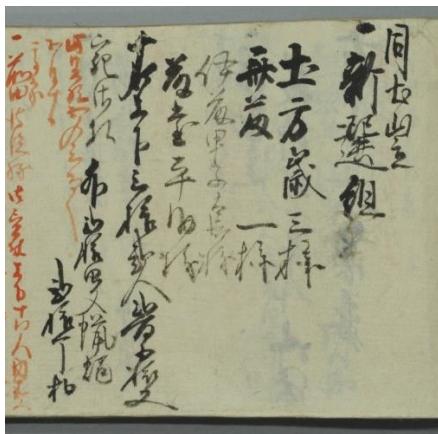


発見時の引出の様子(手前)

## 新選組の「煙管入れ」

煙管入れと付属の袋。慶応元年（1865）の大福帳には、新選組隊士のうち、土方歳三以下幹部4名を含む32名から謝礼とろうそくが渡されたとの記録がある。

紙札（袋）「新選組様 五月九日御泊 壱番間ニ御失念物」



「慶応元年 大福帳」(部分)  
草津宿本陣蔵

同※ 土山立
一 新選組
土方歳三様
齋藤一様
伊藤甲子二郎様
藤堂平助様
右上下三拾式人式百五拾文
宛御払 外式拾四文蠟燭
式拾丁払
此足賄五貫三百文

※五月九日を指す。  
直前に、「五月九日土山立 四辻中將様 御小休 (昼休憩)」との記載がある。

## 特別展「草津宿本陣の“わすれもの”」を開催します！

このたびの新出資料を展示するほか、関連する大福帳等もあわせてご紹介します。

会期 令和元年 8月1日(木)～18日(日) ※休館日 8月5日・13日

時間 9時～17時(入館は16時30分まで)

場所 草津市立 草津宿街道交流館(草津市草津三)

観覧料 通常の観覧料

大人 200円(160円)、高大生 150円(120円)、小中学生 100円(80円)

※( )は20名以上の団体料金